

No. 854

# タニノムーティエに栄冠

286/

—第37回日本ダービー—

タニノムーティエか、アローエクスプレスか、A、T、ラインで退職金レースと異名をうけた45年度サラブレッド4歳馬の日本一を競う「第37回日本ダービー」が24日東京競馬場で行なわれました。

この日、快晴のダービー日和り。

生れてから三年間、この日のために雨の日も風の日も競走馬として鍛えられてきた東西の精鋭22頭が緑の芝生映える午後3時50分ゲート・イン

スタートノ 11万余の観衆の眼が走る馬を追う「せり合うと絶対強い」タニノムーティエが本領を発揮してダテテンリュウに半馬身差で優勝。

期待のアローエクスプレスは苦戦で5着。

さつき賞、ダービーと二冠を制覇したタニノムーティエは栄光の「三冠」を目指して秋の菊花賞に挑戦。

関西馬タニノムーティエの強さとねばりをまざまざと見せつけられた第37回ダービーでした。

# 川は死んでしまおう

218/

アユ解禁のトップを切って、5月24日、伊豆・狩野川にはこの日を待ちかまえた大公望がドット押しかけ河原を埋めつくしてしまいました。しかし、この日の漁獲量はかんばしくありません。

毎年、川という川は工場排水に汚染され魚の住めるところでなくなってきました。汚水で悪名高い東京・隅田川、無論酸素量はゼロ、魚の住めるところではありません。

水の公害は川から河口へ、そして海へと拡がり、東京湾ではつりあげられたハゼの25%が異常な姿をしているという深刻な事態をむかえています。

公害は水に限らず、深く、静かに我々の日常生活を侵しつつあるのです。

計 604